

【クラブ活動報告】

能登半島地震に対し、復興支援チャリティーコンサート

御坊南ロータリークラブ  
会長 丸山 晋右

当クラブは、令和6年1月1日に発生した能登半島地震に対し、復興支援チャリティーコンサートを令和6年2月25日(日)午後5時30分より当クラブ会員の古谷恭子さんの「ラウンジ真心(しん)」にて行いました。

このコンサートを行う事になったのは、当クラブ会員の濱口顕人君が普段からお付き合いのある、フォークソング系のプロデュースをされている(株)ユイプランニングファクトリーの久澄信幸さんから、「歌手の庄野真代さんが2月に能登でコンサートをやる予定だったのが震災でキャンセルになり、2月24日に和歌山県のかつらぎ町でコンサートをするので、次の日の2月25日に能登半島復興支援チャリティーコンサートを御坊市で出来ないか」というお話をいただいたことが発端です。急な話でしたが趣旨に賛同していただけそうな方々に声を掛け、結果的に約60人の方々が会場をいっぱいしてくれました。



庄野真代さん、坂本洋さん(ピアノ)、稲葉智さん(ギター)によりコンサートは始まりました。庄野さんは「モンテカルロで乾杯」、「グッバイモーニング」など懐かしい歌と、昔、和歌山城の天守閣で歌った思い出話などを織り交ぜ、終盤には「飛んでイスタンブール」を歌って下さり、おかげさまで、1時間30分の楽しい時間を過ごすことができました。

後日、チケット販売収入、当日会場に来られた方々の寄付や協賛頂いたラグレースゴルフ倶楽部様からの寄付、当クラブ会員からの寄付などを合算し、必要経費だけを引いて、300,600円を日本赤十字社石川県支部に送らせていただきました。

日高新報

日高新報 2月27日 掲載

紀州新聞

紀州新聞 2月28日 掲載

**被災地の復興を願って**  
御坊南RC 庄野真代さん慈善ライブ

御坊南ロータリー長主催、能登半島地震市のスナック真心(しん)で開かれ、約60人が参加したチャリティーコンサートが25日、御坊市スナック真心(しん)で開かれ、約60人が参加したチャリティーコンサートが行われました。

庄野さんは1976年にデビューし、「飛んでイスタンブール」など10のヒットを飛ばし、曲を熱唱し、曲が紅白にも出演、2006年にはNPO法人国際ボランティアを立ち上げ、途上国、貧困地域に寄付活動などを続けている。中越地震、東日本大震災、紀伊半島水害などでもチャリティーライブを展開し、音楽を通じた社会貢献活動を行っている。

丸山会長は「庄野さんの歌声を聴いて、被災地の復興を願って、心ゆくまで歌を聴いてほしい」と話した。

本大会費は、チャリティーライブの収益金や、同クラブ寄付金の合計30万5000円を日本赤十字社石川県支部を通じて全額を被災地支援に活用する。

**能登半島地震復興チャリティー**  
庄野真代さん 市内でコンサート

御坊南ロータリークラブは25日、御坊市湯川町財部「スナック真心(しん)」で「能登半島地震復興支援チャリティー」を企画し、印南町のラグレータ。

スナック真心(しん)は、御坊市湯川町財部「スナック真心(しん)」で「能登半島地震復興支援チャリティー」を企画し、印南町のラグレータ。

日頃から様々なボランティア活動に取り組む、2011年の東日本大震災の際は北海道から九州まで30カ所以上でステーション・コンサートを開催し、同9月の紀伊半島大水害発生の際に白浜町と紀の川市でもチャリティーライブを実施するなど、県とも縁が深い、シンガーソングライターの庄野さんの全面的な協力を得た。

丸山晋右会長は開催の趣旨を説明しながら「復興支援の趣旨に賛同し、多忙の中、遠路はるばる御坊までお越しただけで、ご厚意に感謝しつつ、皆様も楽しんでほしい」とあいさつ。庄野さんは「モンテカルロで乾杯」

「東京へブルース「飛んでイスタンブール」平和のうた」などを熱唱し「音楽だからこそできること、皆さんと気持ちを分かち合っていたい」と被災地を回らせていたと語った。同じ空間、時間を共有することで、皆さんも自分ができることは何かを考えていただければと訴えた。

チケット5000円(1ドリンク付)で参加協力金を募ったほか、会場募金や同クラブ寄付金の合計30万5000円を日本赤十字社石川県支部を通じて全額を被災地支援に活用する。